

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2444回 例会
平成24年4月27日(金)
天候 曇り
合唱 奉仕の理想
四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25
中川方 TEL/FAX 0465(62)3056
例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

高杉実行委員長のもと会員皆様方全員のご協力で50周年記念式典並びに祝宴も大過なく終わることが出来ましたこと厚く御礼申し上げます。会長挨拶のなかで1点間違えた事を指摘されましたので訂正させて頂きます。30周年記念事業でミモザアカシアの植樹と話しましたが実際は20周年事業でした。間違いの原因は転記ミスです。大変失礼しました。行事でなく大変喜ばれたことがあります。今の時季の柑橘類を湯河原クラブから立山RCへお土産としてお渡ししましたら先方からこんなおいしい柑橘類は初めてだと大変喜んで頂きました。土産担当者ありがとうございました。あとは6月15日のモニュメント除幕式が残されています。それが終わってはじめて50周年記念関係が終わりとなりますのでご協力宜しくお願い致します。

本日のお客様

小澤重彦君 小田原RC

| | | |
|------|----------------|---------------------|
| 出席報告 | ゲスト 0名 ビジター 1名 | |
| | 会員 26名 | 欠席 4(1)名 出席率 88.00% |
| | 前回の修正出席率 100% | 前々回の修正出席率 100% |

幹事報告

ガバナー

- R財団『未来の夢計画』移行準備のご案内
 - 未来の夢計画 2012/7_13/6年度 セミナー 予定表
 - 未来の夢計画に基づく 2780 地区R財団運営規程の要旨 地区補助金運営要項の要旨 他
 - 職業奉仕活動に関する参考資料 職業奉仕活動実施状況報告 11 “7/1~12” 6/30 の集約表
 - R I財団NEWS4月号及び2011~12年度 3月末(9ヶ月間) 寄付報告 米山記念奨学会
- 「ハイライトよねやま 145号」2012/4/13 発行 連絡事項
 - 次週5月4日の例会は祝日休会

スマイルBOX

小澤重彦君 いつもお世話になります
伊藤伸之君、高杉尚男君
50周年記念式典も皆様のご協力により無事終了いたしました。6/15のモニュメント除幕式もよろしく願いいたします。
渡辺久恭君 神奈川県ゴルフアマ予選を通過しました
地区協欠席者

◎50周年記念式典に対するお礼

実行委員長 高杉尚男

会員の皆様、50周年式典・祝宴が無事滞りなく大成功の内に開催することが出来ました。本当に有り難うございました。各部署ごとに会員の皆様が、一生懸命役割を果たされたお陰で、立派な50周年の礎を築けたと思います。

又、ロータリーの関係者の方々からお褒めの言葉も届いております。後、記念事業の歓迎塔の除幕式・記念誌の作成がありますので、宜しくお願ひ致します。

去る4月22日湘南工科大学で開催された地区協議会の報告を担当理事よりして頂きました。

代表ホストクラブ：藤沢北ロータリクラブ

全体会議の後、部門別会場で協議会

◎2012地区協議会プログラムの発表

幹事 石倉幸久

田中作次国際ロータリー会長 2012・13年度
テーマ「奉仕を通じて平和を」

◎クラブ管理運営委員会 担当理事 佐藤泰文

クラブに直接かかわる委員会なので前例に伴い進めて頂きたい。当クラブはそれぞれの委員会ともお互いの絆がしっかりしているのでさらに友情を深め、良きクラブの構築に荷担していくことをお願ひしたい。

◎増強委員会 担当理事 渡辺久恭

◎三大奉仕プロジェクト委員会

担当理事 土屋一弘

◎クラブ奉仕部門(地区協原稿より)

基調講演 「例会から得られるもの」

山路裕昭リーダー(足柄)

ロータリークラブという出会いの場に触れてロータリーつながりの中で多くの友人と知合いロータリーつながりの中でお互い自己を磨きロータリーつながりの中で奉仕をする喜びを知りそのつながりの中でフェロシップとサービスを学ぶ仲間を大切に思う心と世のため人のために尽くす心は開かれた家庭、開かれた職場を生み出す。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」この言葉を死語の言葉にしてはならない。

ロータリーは例会出席から始まる。例会なくしてロータリーは存在しない。ロータリーの本質は親睦の中から自己を研鑽し、奉仕の心を高める事にある。毎週の例会に出席する事で、気兼ねのない話し合い、笑いのある楽しい雰囲気の中で醸し出された会員同士の親睦のエネルギーが自己研鑽と「人の身になって考え、人のお役に立つ行い」という奉仕の心を生み出し、高めていく事ができる。つまり、例会の中で親しみ、磨き合い、学び合う中でロータリーがよく言う「慣用と調和」の心を身に付けていく。

第一セッション「出席について」

脇洋一郎サブリーダー(茅ヶ崎南)

第二セッション「新人研修について」

成田栄二サブリーダー(茅ヶ崎)

第三セッション「親睦について」

大谷新一郎サブリーダー(相模原南)

◎米山奨学委員会 担当委員長 高杉尚男

本年度の米山奨学生について

面接者数 63名

合格者数 21名

継続者数 8名

合計 29名

米山月間 (10月)

ガバナー事務所と事前にスケジュール調整を行い、地区の委員の付添いの下、奨学生・学友をクラブに招き卓話を依頼する。

参考までに

湯河原クラブ・世話人数実績 4名

2780地区実績 500名